

AIから社会サービスへ

AI (人工知能)は、コンピュータが誕生したときに、人間がもつ「見る・聞く・話す・歩く・考える」といった能力をコンピュータで実現できるか?という問いから研究がはじまりました。誕生から80年以上が経ったいま、AIはさまざまな能力をもち、社会のさまざまな場所で、人間と共に働きはじめています。今回のカフェでは、人工知能(AI)の研究者である野田 五十樹さんを話し手にお迎えします。野田さんの研究者としての歩みや最新のAI (人工知能)の技術についてお話を伺いながら、AIとロボカップ (ロボットのサッカー競技)や公共サービス (オンデマンド交通)などのトピックを交え、これからのAIと私たちの関わり方について考えたいと思います。

日時

2026年7月30日(木)
18:30~19:30

対面とオンラインの参加方法の別は、
申込時にお選びいただけます



会場

ハイブリッド開催
(対面またはオンライン)

対面参加

北海道大学工学部 フロンティア応
用科学研究棟 1階「SDGs オアシ
ス」(札幌市北区北13条西8丁目)

参加費

無料オンライン
参加

Zoom (インターネット接続と
PC・スマホ等が必要です)

お話し AIから社会サービスへ: AIシミュレーションによるサービス設計



講師

野田 五十樹 (のだ・いつき)さん

北海道大学 大学院情報科学研究院 教授／理化学研究所 客員主
管研究員(兼任)／産業技術総合研究所 招聘研究員(兼任)

京都大学大学院工学研究科に進学・修了後、電子技術総合研究所(現在の
国立開発研究法人 産業技術総合研究所)などを経て、現在は北海道
大学 大学院情報科学研究院・教授。1994年ごろからロボカップ(ロ
ボットサッカー競技)の創立に関わり、ロボカップ国際委員会プレジ
デント(会長)。2000年ごろから防災プロジェクトや、オンデマンド形
公共交通のシミュレーションに携わり、2020年には第18代人工知能学
会 会長を務める。その後オンデマンド型公共交通の社会実装を目指し
て函館市にて(株)未来シェアを設立。AIを駆使して移動格差のない未
来の公共交通を創造するべく、日々奮闘している。

聞き手: 有村 博紀

北海道大学 教授(情報科学)／
日本学術会議第三部会員

主催: 北海道大学・日本学
術会議北海道地区会議

参加申込 (事前申込み制)

申込方法: Web申込にて、右のQRコードのオンラインフォームからお申し込みくだ
さい(※お電話・電子メールでのお申し込みは受け付けておりません)

参加費: 無料

申込はこちら→

定員: 会場参加 30名(先着順)／オンライン参加(約60名)**問合せ:** 有村 博紀(北海道大学) e-mail: arim@ist.hokudai.ac.jp